

IND-6014-1704

## ユニソルブルSF(N)

## 非鉄金属用ソリューブルタイプ切削・研削油剤

ユニソルブルSF(N)は非鉄金属に対する防食性が優れたソリューブルタイプの非塩素系水溶性切削・研削油剤で、A2種2号（JIS K 2241）に相当する水溶性切削油剤です。

## ●特長

## 1. 防食性に優れている

非鉄金属防食剤を配合しているため、アルミニウム合金や銅合金などの非鉄金属の加工において加工物の変色を抑制します。

## 2. 安定性に優れている

切り屑や他油の混入による液劣化を抑制するように設計しているため、液の変色や切り屑の固着などの問題が軽減され、液の長寿命化が図れます。

## ●使用希釈倍率

非鉄金属の切削・研削加工：10～30倍

鉄鋼材料の研削加工：20～50倍

## ●ユニソルブルSF(N)の代表性状

|           |                         |                  |
|-----------|-------------------------|------------------|
| 外観        | (原液)<br>(希釈液)           | 黄褐色液状<br>淡黄白色半透明 |
| 密度        | (15℃) g/cm <sup>3</sup> | 1.01             |
| 表面張力*1    | (25℃) mN/m              | 36               |
| pH        | *1                      | 9.1              |
| 耐食性*1     | { 鋼<br>アルミニウム<br>銅      | 変色なし             |
| (室温, 48h) |                         | 変化なし             |
|           |                         | 変化なし             |
| あわ立ち性*1   | (24℃) ml                | 0                |
| 消防法危険物分類  |                         | 非危険物             |

\*1) 30倍希釈液での測定値（JIS K 2241に準拠）

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。  
(2009年7月)

## (さび止め性)

## 試験方法

シャーレ内に置いたろ紙上直径36mmの円内に鑄鉄切り屑1gを均等に分散させ、鑄鉄切屑全体が湿潤するよう注射器を用いて試料希釈液を滴下する。

その後シャーレのふたをせずに室温に24時間放置した後、切り屑を取り除いたろ紙上円内の変色（さびの転写）程度を目視にて観察し、表1の評点にしたがってさび止め性を判定する。

表1 さび止め性評点

| 評点 | 変色程度             |
|----|------------------|
| 0  | 変色なし             |
| 1  | 半径1mm以内の変色が3ヶ所以内 |
| 2  | 表面の1%未満が変色       |
| 3  | 表面の1%以上5%未満が変色   |
| 4  | 表面の5%以上が変色       |
| 5  | 表面全体が変色          |

## 試験結果

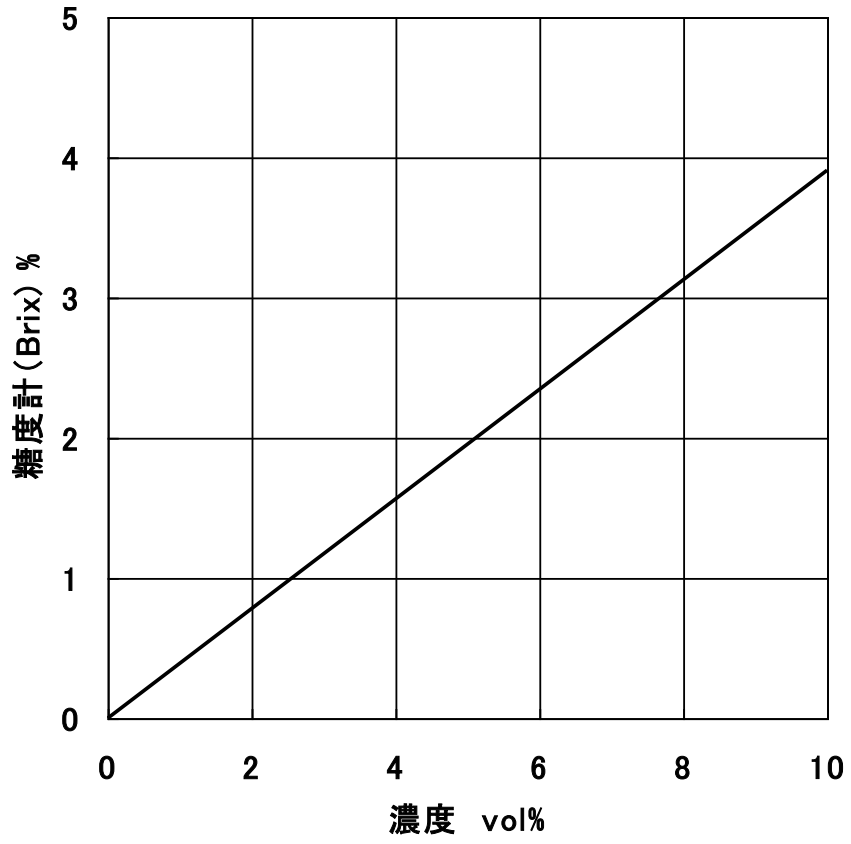
表2 ユニソルブルSF(N)のさび止め性(評点)

| 希釈倍率        | 30倍 | 50倍 |
|-------------|-----|-----|
| ユニソルブルSF(N) | 0   | 0   |

## ●荷姿

200lドラム、20lペール缶

### ユニソルブルSF(N)の濃度換算グラフ





## 取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

|            |   |
|------------|---|
| 成分：        | 水溶性加工油剤   |
| 絵表示：       |   |
| 注意喚起語：     | 警告  |
| 危険有害性情報：   | 皮膚刺激<br>強い眼刺激   |
| 注意書き： 安全対策 | <ul style="list-style-type: none"><li>• 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</li><li>• 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。</li><li>• 取り扱い後はよく手を洗うこと。</li><li>• この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。</li></ul>  |
| 応急措置       | <ul style="list-style-type: none"><li>• 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。</li><li>• 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。</li><li>• 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。</li><li>• 汚染された衣類を脱ぐこと。</li><li>• 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。</li><li>• 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</li><li>• 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。</li></ul> |
| 保管         | <ul style="list-style-type: none"><li>• 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。</li><li>• 一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。</li></ul>  |
| 廃棄         | <ul style="list-style-type: none"><li>• 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。</li><li>• 不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。</li></ul>   |